



令和3年度 施政 要 旨

「心豊かに 幸せを感じるまち」 を目指して

町民目線でまちづくり

国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されたから1年以上が経過した現在でも、パンデミックは未だ収束せず、私たちの日常を脅かし続けております。令和3年度も、感染症予防対策を継続しながら、真に困っている人に迅速的確に支援できるような気を配って参る所存です。特にワクチン接種については、関係機関と緊密に連携しながら、接種体制を整備し、スムーズな接種に努めて参ります。

昨年7月には、「令和2年7月豪雨災害」が発生し、町内でも住家98棟の床上床下浸水や農作物の冠水被害など大きな被害をもたらしましたが、不幸中の幸いで人的被害はありませんでした。令和3年度は、災害に関する情報提供を充実し危機管理意識の向上を目指すとともに、国が進める最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトと連動し、はん濫を減らすための治水対策へ計画的に取り組んで参ります。

今後とも町民目線でのまちづくりを政治信条として町民の皆さんと一緒に町政を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

各分野の施策概要

◎地方創生の取り組み

●地域おこし協力隊を新たに4名任命し、町の交流拠点であるKOE no KURAの運営、町のPR活動、また、スポーツ推進や観光振興などさらなる町の活性化を推進します。

●移住相談会を開催し町の魅力をアピールするとともに、定住促進事業補助金や移住支援金を交付し、移住・定住の促進を図ります。

●結婚新生活支援事業を創設し、新婚世帯を対象に経済支援を行い、町外転出の抑制を図ります。

◎納税対策について

●口座振替の推進など納税環境整備を進め、未納対策のため納税相談員を引き続き配置します。

●小中学生に対する税金教室の実施により納税意識の向上を図ります。

◎保健・福祉関係事業について

●新型コロナウイルスワクチン接種体制を整備し、関係機関と緊密に連携しながら、スムーズなワクチン接種に努めます。

●「大石田町地域福祉計画」に基づき、基本理念である「健康で安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を目指し、高齢者、障がい者、児童の福祉施策を推進します。

●協働のまちづくり事業を創設し、関係機関と連携を深めながら、高齢者が安心して生活できる環境整備を図ります。

●出産祝金、インフルエンザ予防接種費用の助成、医療費の18歳までの無料化を継続し、令和3年度からは入学祝金交付事業を創設し、さらなる子育て世代の負担軽減を図ります。

●健康診査、各種健診の受診率を高め、健康寿命の延伸に重点を置いた取り組みを推進します。また、令和3年度から特定不妊治療助成事業を拡充し、さらなる母子健康事業の充実を図ります。

●ジェネリック医薬品の普及、かかりつけ医の定着など医療費抑制対策に取り組めます。

◎生活環境保全事業について

●町衛生組織連合会と連携して資源回収を実施し、再資源化を推進します。

●ごみ収集日や分別の周知を徹底し、マナー向上に努めます。

●クリーンアップ大石田を通して、身近な環境の美化とともに公衆衛生規範を醸成し、持続可能な循環型社会の形成に努めます。

◎農林業振興事業について

●農地の集積による規模拡大、担い手育成のため経営支援に努めます。

◎収入保険制度の加入促進を推進します。

●特別栽培米を奨励し、農業生産工程管理(GAP)への取り組みを支援します。

●固有品種「来迎寺在来」原種の保存・継承に努め、質と収量確保のため収穫体制の拡充を図ります。

●森林の多面的機能発揮のため、森林整備計画に基づき、資源の保全と利用に努めます。

◎商工業振興事業について

●町内における消費喚起を図るため、引き続きプレミアム商品券発行事業を支援します。

●労働力確保のため商工会・金融機関と連携して求人情報等の周知と活用を促します。

◎観光物産振興事業について

●新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて、地域資源を活かした観光地・観光サービスの充実を図り、国道347号沿線の市町と友好交流協定を結ぶ涌谷町との交流・連携を軸に観光ルートづくりやイベント開催など、交流人口拡大と物産振興に努めます。

●「そばの里」振興のため、新そばまつりなどイベントの開催を支援し、加えて温泉利用の促進や特産品の消費拡大など観光振興を図ります。

◎安全安心のまちづくり事業について

●消防署大石田分署の設備を活かし、また各地区の消防団設備の更新を図り、消防力向上に努めます。

●交通事故発生を防止するため、関係機関と緊密に連携し、交通安全意識の普及啓発に努めます。

●免許自主返納高齢者への支援を継続します。

◎建設関係事業について

●東北中央自動車道の早期全線開通に向けて、国に對し要望します。また、国道347号を災害時の重要

◎教育文化の振興について

●地域と学校の一体的な活動推進を図る地域学校協働本部の運営をより一層活性化させます。

●地域と学校のネットワーク化を進め、生き抜く力を培う質の高い学校教育に取り組めます。

●外国語活動と英語教育の充実を努め、国際理解力の向上を図ります。

●学校における働き方改革を進め、生徒の生活バランス確保と教員の負担軽減に努めます。

●虹のプラザを有効活用し、学習機会や情報提供、自主企画により町民の生きがいづくりに取り組みます。

●情報提供・レファレンス機能を強化し、魅力的な図書運営に努めます。

●大石田スポーツクラブが地域スポーツの担い手、地域コミュニティの核として運営されるよう支援に努めます。

●子どもたちの確かな学力を育成するため、学校におけるICT環境を整備し、ICTを効果的に活用した学習の充実に取り組めます。